同窓会報

大分市金池町3丁目2-6
大分県教育会館内
編集兼発行人
安東玉彦

大分市長浜町一丁目
印刷所 (株)明文堂印刷
TEL(32)2842
(34)1964

百周年記念像建設募金完了

ご挨拶

同窓会会長 安東玉彦

深緑盛夏の候、会員の皆さんには益々ご健勝大慶に存じ上げます。

御高承の通り、同窓会では皆さんの力強いご協力のもと、創立百周年記念事業として、一昨年より同窓会員名簿の作成、記念式典並びに教育講演会等盛大に開催いたしましたが、昨年度は最後の大事業として記念像建設のための募金活動を実施いたしました。当初、一、一〇〇万円を目標にした募金も、会員の皆さんの力強いご賛同とご協力によりまして、左記の報告書の通り、予期以上の好成績をもって完了しましたことは誠にご同慶に堪えないところであります。

この間、各支部を代表した実行委員の方々は、再三に亘る実行委員会での募金に関する周密な計画とご審議を重ねられ、各支部では実行委員さんを中心にたく さんの方々が、足を運んで募金活動にご奉仕下さったことと思います。そのご労苦とご功績に対し深甚なる感謝申し上げる次第であります。

また、学校現場では校長会、教頭会が率先してお世話をして頂き、全会員の募金が完了しましたことを深くよろこんでおります。

その他、遠く東京都の支部や、県外に住む会員のご芳志、また会員外で、多額のご寄付を頂いた篤志家の方々に対しても厚くお礼を申し上げます。

只今制作中の記念像は、来る八月末には完成し、大分県教育の殿堂、大分大学教育学部の正面に建設せられ、限りない教育愛の象徴として永遠に記念することになります。

ここに重ねて会員の皆さんのご芳志に対し、厚くお礼を申し上げます。

****

創立百周年記念像建設募金状況

1．一般会員募金

郡市名	募金実績額 会員数	募金総額	経費	納入金額
中津市	237	337,000	16,850	320,150
下毛郡	144	262,000	12,900	249,100
高田市	179	350,000	17,500	332,500
西国東郡	144	297,500	14,875	282,625
宇佐市郡	451	809,000	40,450	768,550
別府市	530	895,500	44,675	850,825
杵築市	144	234,000	11,700	222,300
速見郡	241	465,000	23,250	441,750
東国東郡	336	639,000	31,950	607,050
大分中央	1,080	2,446,500	126,825	2,319,675
大分鶴崎	225	501,500	24,075	477,425
大分大在	60	160,500	8,025	152,475
大分坂ノ市	123	199,000	9,850	189,150
大分稙田	276	587,500	29,125	558,375
大分大南	114	222,500	11,125	211,375
北海部郡	105	175,000	8,750	166,250
臼杵市	236	461,500	22,800	438,700
津久見市	174	348,500	17,425	331,075
大分郡	322	599,000	29,950	569,050
佐伯市	263	472,000	23,600	448,400
南海部郡	269	589,500	29,475	560,025
竹田市	188	366,000	18,300	347,700
直入郡	85	183,000	8,650	174,350
大野郡	473	724,000	36,150	687,850
日田市	187	404,500	20,175	384,325
日田郡	93	160,000	8,000	152,000
玖珠郡	145	290,000	14,500	275,500
東京	100	20,000	0	200,000
大分大学	173	337,000	0	337,000
その他	1	5,000	0	5,000
合計	7,098	13,721,500	660,950	13,060,550

2．特別寄付金

財団法人 大分県教育会館	100,000	0	100,000
那賀重産業 社長 那賀重信	50,000	0	50,000
総計	7,099	13,871,500	660,950	13,210,550

昭和五十二年度 同窓会評議員会終わる

＊大分大学教育学部同窓会は、去る六月十四日県教育会館で評議員会（総会）を開催し、会長あいさつの後、昭和五十二年度会務報告、同決算報告を承認し、さらに五十三年度の事業計画、同予算案を了承した。また百周年記念事業として、記念像建設募金が一応完了したので、募金状況報告と建設予算案について決定をした。

＊なおその他の項で会員より動議があり、次期衆議院に立候補予定者本郷公威氏を同窓会として推薦することを満場一致で可決した。

五十三年度 事業計画

一、会報を2回発行する。

二、教育論文を募集し、論文集を刊行する。

三、支部活動の強化を図る四、教育講演会を県内2個所で開催する。

（別府市）

（竹田地区）

五、百周年記念像竣工落成式を行う。

（昭和53年9月24日）

本年度はこの五項目の事業を活発、盛大に行なうため予算の裏付を十分にした即ち、会報は2回とも四頁版にして会員の記事を多く掲載するようつとめる。教育論文募集については従来の奨励金を倍額に増やし、応募者に対して研究助成の強化をはかった。

支部活動ではその運営に必要な経費（支部還元金）が極めて少ないと思われるので、各支部で総会等開いた場合、県事務局へ報告すれば若干の補助金を出し、支部活動の強化を図る。

教育講演会も年々盛会に行なわれているが、本年よりいという意見が出たので、これを採択し、その具体策については執行部に一任された。そこで正副会長と実行委員代表世話人（5名）合同の会議を開いて次のように決定した。

○ 参加者は一律五〇〇円の会費を収める（祝賀会）

○ 旅費は自弁とする。

○ 各支部の実行委員は、参加者名簿と会費を添えて事務局に納める。

以上のようになったのでこの意義ある落成式を盛り上げるため、進んで多数参加するようお願いしたい。

五十二年度 会務報告

5月30日 常任評議員会
6月8日 評議員会
教育論文入賞者表彰式
7月10日 会報第48号発行
7月15日 百周年記念事業実行委員会開催、記念像建設について審議
7月29日 実行委員会代表世話人会を委嘱、記念像建設について打合せ
8月19日 第2回世話人会
募金計画案の審議
8月26日 第2回実行委員会、募金計画の決定
9月1日 募金活動に入る
10月9日 杵築地区教育講演会、講師、県立二豊学園長、今村献一郎氏
10月25日 西国東、高田地区教育講演会、講師、弁護士、榎本 勲氏
10月26日 大分大学岩男順先生高岡鋳芸社を視察
11月5日 第3回世話人会
11月15日 教育論文集第4号発行
11月18日 大分大学へ記念像据付工事の承認願
1月20日 会報第49号発行
1月26日 第4回世話人会
募金の中間報告、実行委員会開催日時等決定
2月21日 第3回実行委員会、募金中間報告、記念像制作進捗状況報告
3月23日 原型石膏像完成県立芸術会館に展示
3月30日 岩男順先生石膏像を高岡鋳芸社へ搬入
青銅像鋳造を依頼
4月25日 第5回世話人会
大学の記念像設置現場で、設立位置、基礎工事、造園計画等協議。
落成式9月24日に決定
5月19日 会計監査会
5月20日 教育論文の審査終了。
5月26日 常任評議員会。
評議員会提出議案審議

百周年記念像竣工 落成式ご案内

昨年皆さん方よりの募金で制作中の記念像は8月末には大学構内に据付けられ9月24日（日）に竣工落成式をする運びとなった。去る6月14日の評議員会で、この意義ある落成式、祝賀会には評議員は勿論、たくさんの一般会員の参加を呼びかけ盛大に開催したいという意見が出たので、これを採択し、その具体策については執行部に一任された。そこで正副会長と実行委員代表世話人（5名）合同の会議を開いて次のように決定した。

○ 参加者は一律五〇〇円の会費を収める（祝賀会）

○ 旅費は自弁とする。

○ 各支部の実行委員は、参加者名簿と会費を添えて事務局に納める。

以上のようになったのでこの意義ある落成式を盛り上げるため、進んで多数参加するようお願いしたい。

同級会席上にて

昭和三年三月女師卒 荒木ユキエ

蛍雪折桂五十年
級友相集紅葉秋
今夜高楼催盛宴
倶祈亀寿鶴年春

井上ミツ

山国の清き流れを右に見て
禅師の偉績偲びつたどる
百千の祈願杓子にさそわれて
家内安全祈る羅漢寺

首藤きくの

クラス会友の顔々声音など
遥かに想う柿坂の宿
銀髪をきそいし去年の姫島の
青き海原天草の浜

雑感

弁護士 榎本勲（昭十四年 大師卒）

私は大分師範一部昭和十四年卒です。昭和二十四年法曹界に入りましたので、都合二十九年裁判官や弁護士を勤めたことになります。弁護士には老人が多いので若い気でいましたところ、師範の同期生に聞くと停年間近とのことで、今更に馬齢を経たものだと感心しています。

仕事がら人を裁いたり、人を弁護したりの生活をして来ましたが、人間の生き様はさまざまだなとの思いがします。

肉親や知友と血みどろの闘いの末、判決に勝ったたんに死亡する人、一切妥協や和解をせずに人に嫌われながらも財をなした人、人に裏切られて会社を潰し一家離散した人、法曹の窓から眺める人生は酷いものです。弱肉強食の世の中ではありますが、ただ言えることは嘘を言わないで、約束を守ると言う人柄が人生の最大の武器だと言えそうです。

ここ二十年ほど、民事専門で闘争生活を送っていますが、人生の勝者とはこんな人柄と言う平凡なことでした。

私は歴史上の人物で小早川隆景が一番好きです。秀吉が信長の死亡を秘して毛利と和を結び引き返しました。吉川元春は「羽柴あざむきたり」と怒り後を追おうとしましたが、隆景は、「誓詞で和を約した以上、約束は約束、これを守らねば人の世がたたぬ」と秀吉の追撃を止めたとのことです。全く、すがすがしい人柄だと思います。後日、秀吉から筑前五十二万石の大封を与えられたのも当然と言えましょう。

教育論文の募集

同窓会は本年度も事業の一つとして左記の要領で教育論文を募集します。会員多数の応募をお願いします

記

主題 内容 自由
形式 論文形式（実践記録）
字数 四〇〇〇字以内

〆切り 昭和五十四年二月末日
送付先 郡市支部に通知の上、大分市金池町、大分県教育会館内、大分大学教育学部同窓会事務局へ
表彰 明年度に行い、論文集として印刷配布。